

早めの相談・受診が大切

認知症は治らない病気だから医療機関に行ってもしかたないと思わないでください。まず認知症に早く気づくことが大切です。

早く受診することで、認知症と間違われやすい他の病気を発見することができ、症状が改善できることがあります

認知症と似た症状がみられる病気の中には、甲状腺機能低下症・慢性硬膜下血腫・正常圧水頭症など早めに治療すれば改善するものがあります。

早めに受診し、原因を明らかにすることが大切です。

進行を遅らせることが可能な場合があります

早い段階から適切なケアを受けることや服薬などによって、進行を緩やかにすることが可能といわれています。

これからの生活の準備をすることが可能になります

症状が軽いうちに、ご本人やご家族と話し合い、これからの生活に備えましょう。

介護サービスの利用や、生活環境を整えることで、在宅生活を続けることが可能になることもあります。

「認知症かも？」
と思ったら
まず**かかりつけ医**に
相談してね。



かかりつけ医が
いない場合は
9ページの相談窓口に
相談してね。

かかりつけ医



日頃から顔なじみの医師に症状が軽いうちに、認知症のことを相談してみましょう。

必要に応じて、サポート医や専門医を紹介していただくことができます。ご本人やご家族と話し合い、これからの生活に備えましょう。

認知症サポート医

国が定めたカリキュラムに基づく「認知症サポート医養成研修」を修了した医師で、認知症診断などに関する相談役・アドバイザーです。



認知症疾患医療センター

認知症疾患に関する鑑別診断、認知症の行動・心理症状(BPSD)と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等を行っています。

